

# 条例制定に向けて

～なぜ今 八王子市は男女共同参画を推進するのか～

# 第1章

## 男女共同参画の状況

# 1 世界の中の日本

## ジェンダーギャップ指数2021

120位 / 156カ国

各分野における順位

経済分野 : 117位

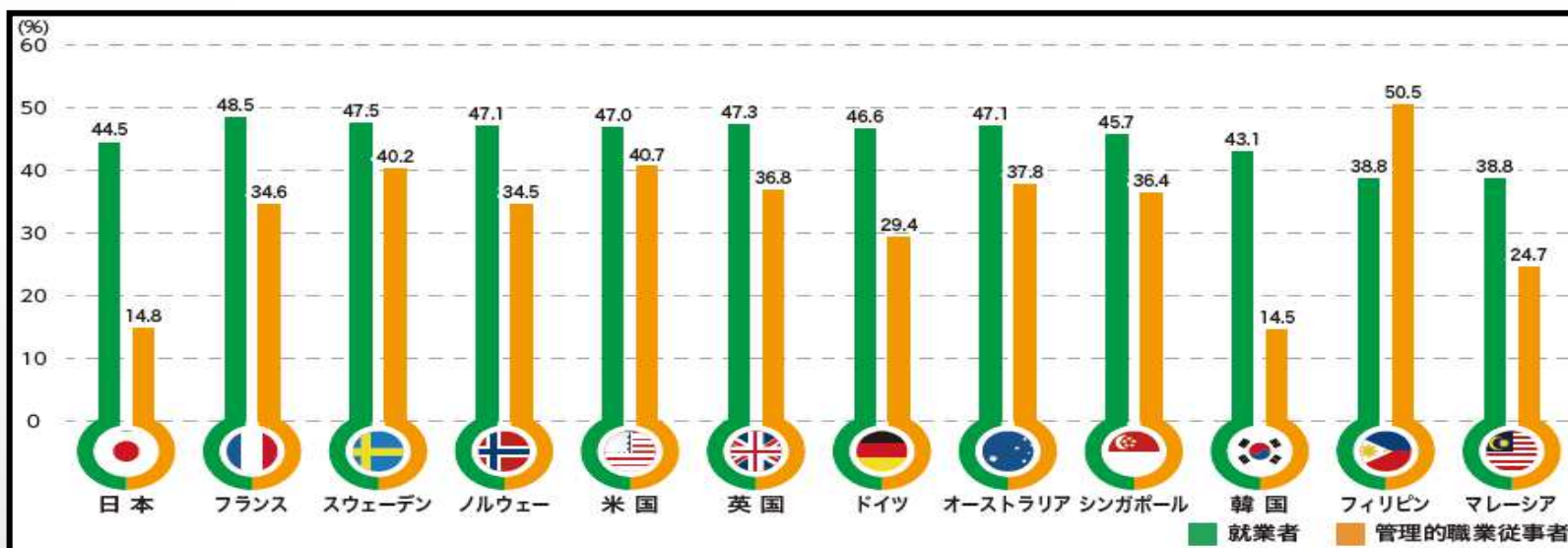
政治分野 : 147位

教育分野 : 92位

健康分野 : 65位

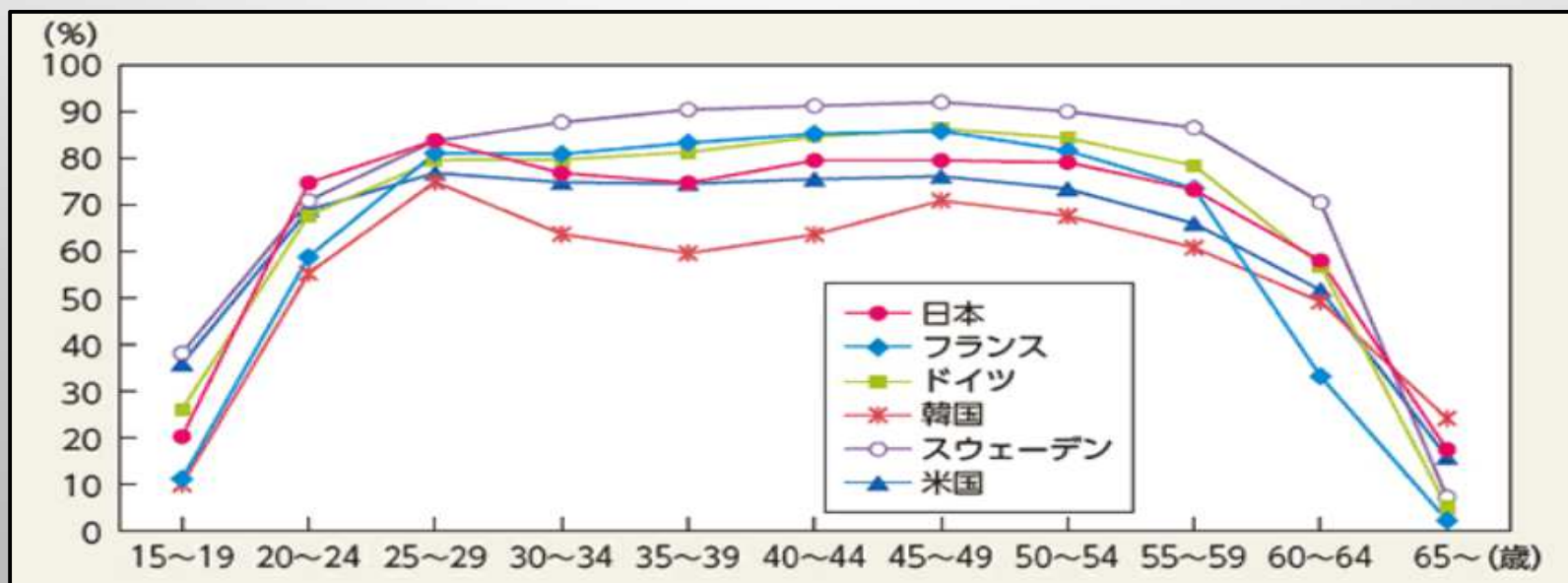
順位	国名
1	アイスランド
2	フィンランド
3	ノルウェー
4	ニュージーランド
5	スウェーデン
120	日本

● 就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合



総務省「労働力調査（基本集計）」（令和元年）、その他の国はILO「ILOSTAT」より作成。

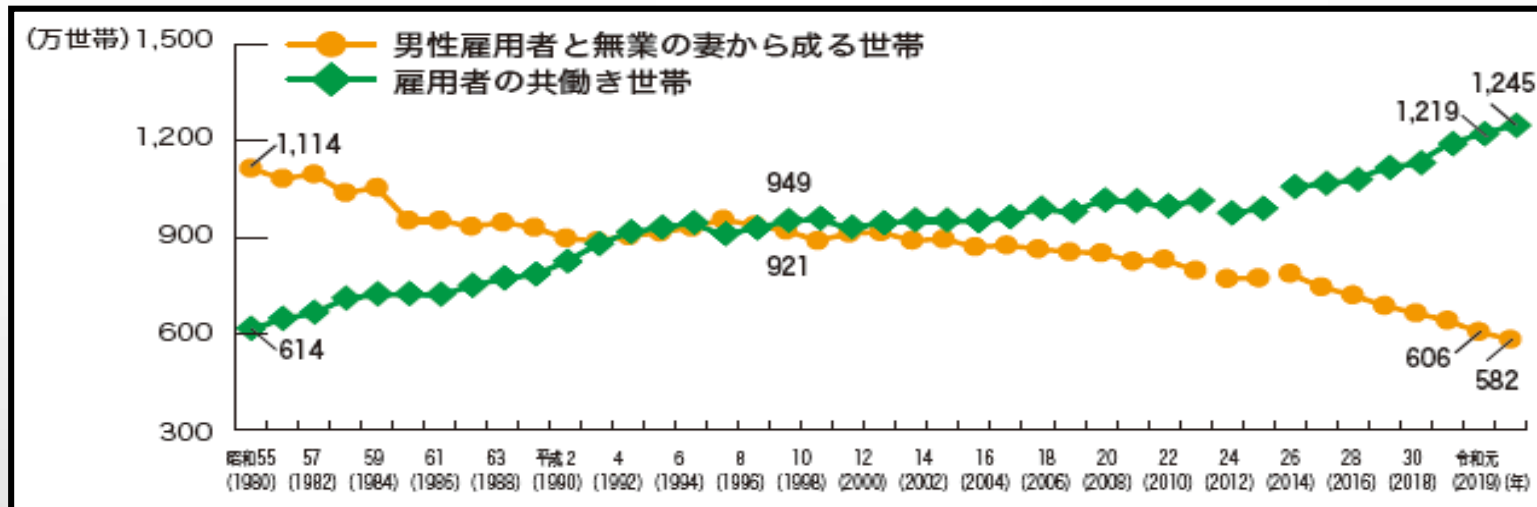
● M字カーブ～女性の年齢階級別労働力率



総務省「労働力調査（基本集計）」（令和元年）、その他の国はILO「ILOSTAT」より作成。

## 2 日本の現状

- 共働き等世帯数の推移



出典: 昭和55年から平成13年までは総務庁「労働力調査特別調査」平成14年以降は総務省「労働力調査(詳細集計)」より作成。

- 家族類型(男女別)ごとの1日当たりの家事・育児・介護時間と仕事等時間

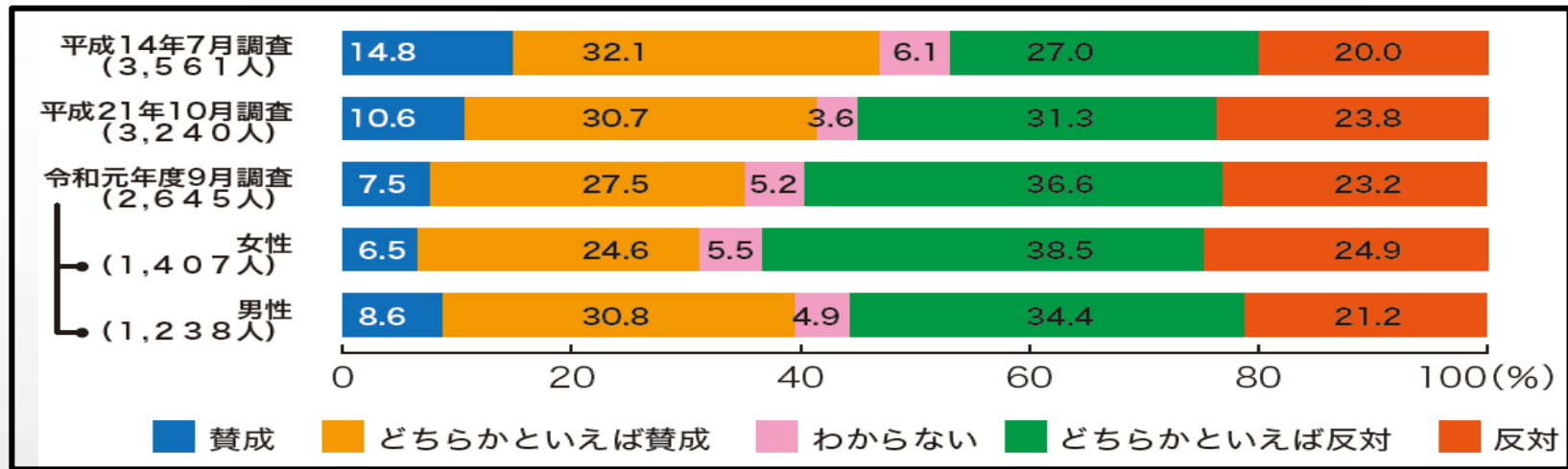
仕事をしている人の「仕事のある日」

■ 仕事等時間(学業、通勤時間含む) ■ 家事時間 ■ 育児時間 ■ 介護時間 □ その他



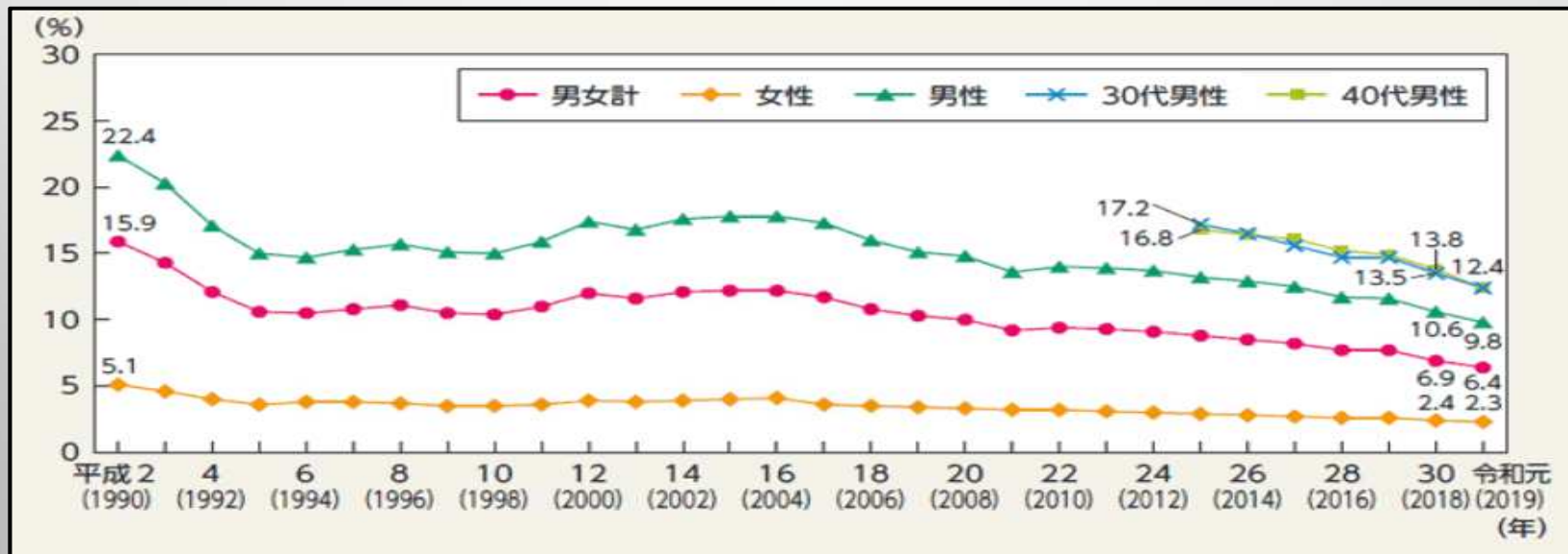
出典: 「家事等と仕事のバランスに関する調査」(令和元年度内閣府委託調査・株式会社リベルタス・コンサルティング)より作成。

● 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



出典：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和元年9月)より作成。

● 週間就業時間60時間以上の雇用者の割合の推移



出典：総務省「労働力調査(基本集計)」より作成。

# 第2章

## 男女共同参画の取り組み

# 1. 国の動き

令和2年12月25日閣議決定

『第5次男女共同参画基本計画』

- 2030年代には、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りが無いような社会となることを目指す。



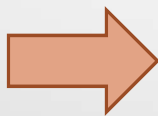
## 2. 八王子市の取組

### 男女が共に生きるまち八王子プラン(第3次)2019改定版

本市では、男女共同参画社会の実現に向け本プランを策定し、人がひととして尊重されいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現をめざして総合的な取組を行っています。本プランに基づき、性別に基づく固定的な役割分担意識の解消に向けた取組をはじめ、配偶者等からのあらゆる暴力の根絶、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を進めています。

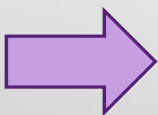
#### 【3つのめざす姿】

1 男女平等意識を確立し、あらゆる分野で男女が参画できる社会



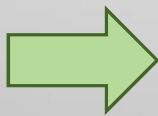
「女性だから」や「男性だから」という性別に基づく意識や行動は、その人の個性や能力を発揮することの妨げとなります。性別や年齢に関係なく「自分らしさ」を大切にできる社会をめざします。

2 男女が互いに人権を尊重し暴力のない社会



DV・デートDVなどの「暴力」は、どんな理由があっても、決して許されません。相手を思いやり、尊重すること。お互い対等で信頼でき、誰もが安心して暮らせる社会をめざします。

3 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が実現し、男女が安心して、いきいきと生活できる社会



仕事・家庭・自分の時間など、何を優先したいかは人それぞれです。自分らしい生き方を選択するためには、ワーク・ライフ・バランスを推進していく必要があります。自らが望むバランスで一人ひとりがいきいきと生活できる社会をめざします。

# これまでの主な成果

内 容		
性別による固定的な役割分担意識のうち「反対」と 思う人の割合  男女共同参画に関する市民意識・実態調査	H19年度	H29年度
	39.6 %	55.1 %
女性の抱える様々な悩みやDVなどに関する相談件数  男女共同参画センター実績値	H17年度	R元年度
	2,294件	3,691件
理想の生活と現実の生活が一致している人の割合  市政世論調査	H27年度	R元年度
	35.9 %	42.1 %
女性が職業を持つことについて「子どもができて も職業を持ち続ける方がよい」の割合  男女共同参画に関する市民意識・実態調査	H24年度	H29年度
	38.7 %	42.4 %

- 本市では、男女共同参画社会の実現に向けて、取組を進めていますが、遅々として進まない状況にあります。

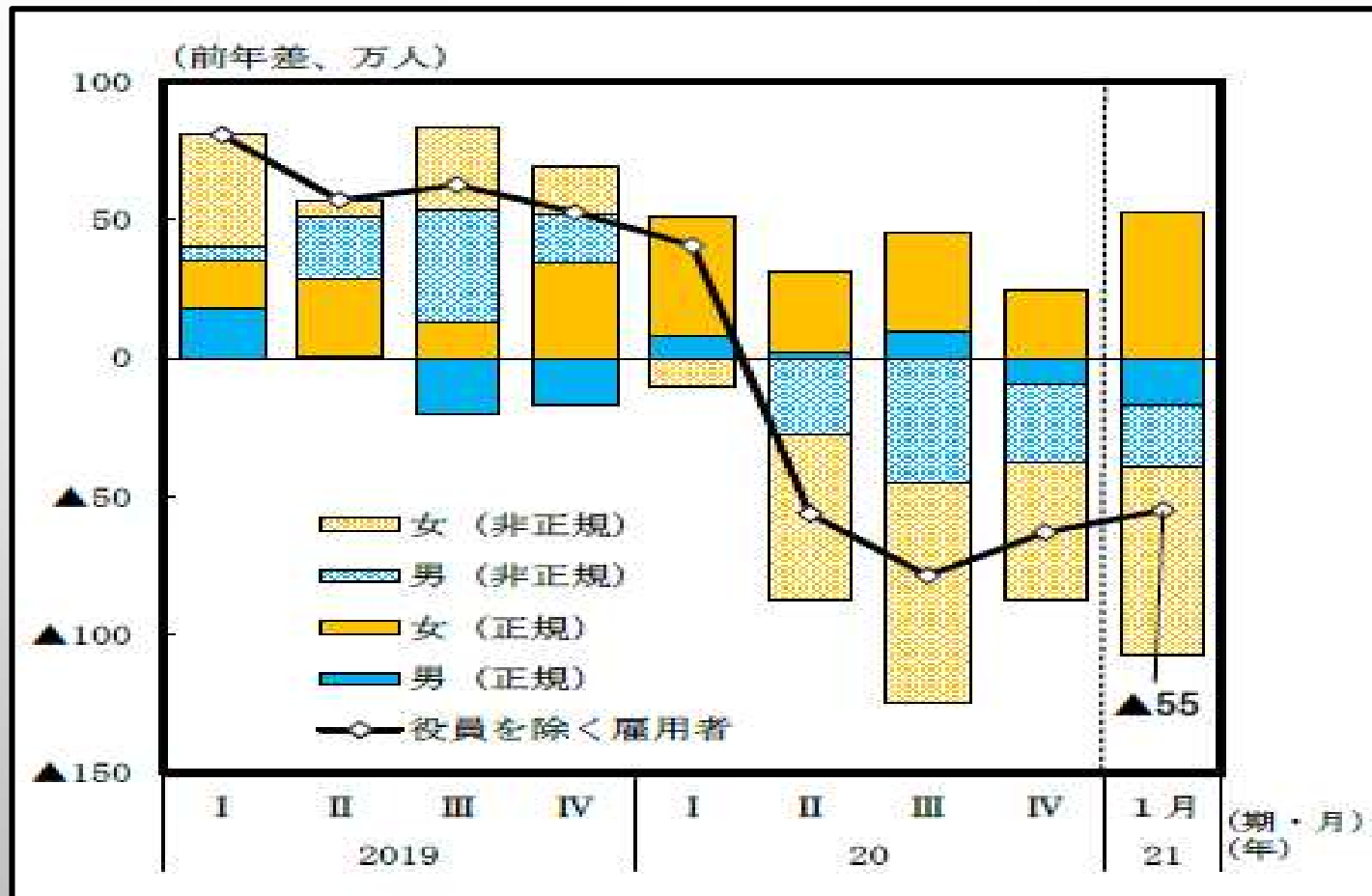
# 第3章

## 新型コロナウイルス感染症

### による影響

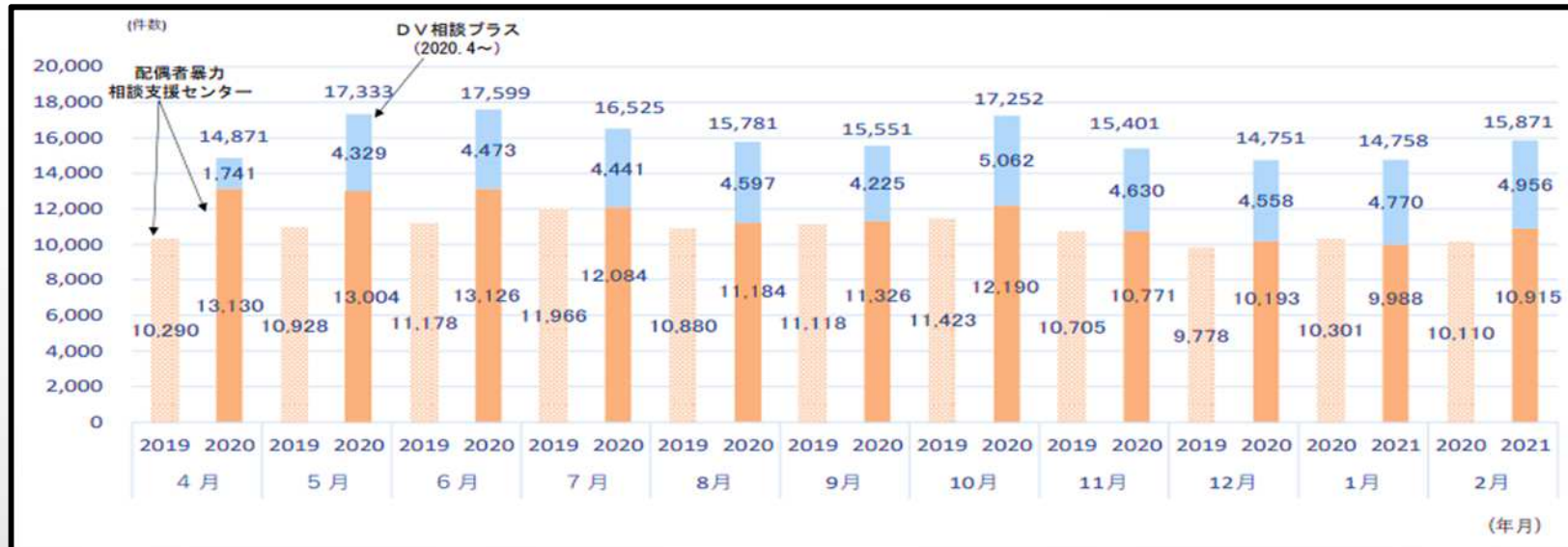
# 1. 女性への影響

- 雇用者数の推移



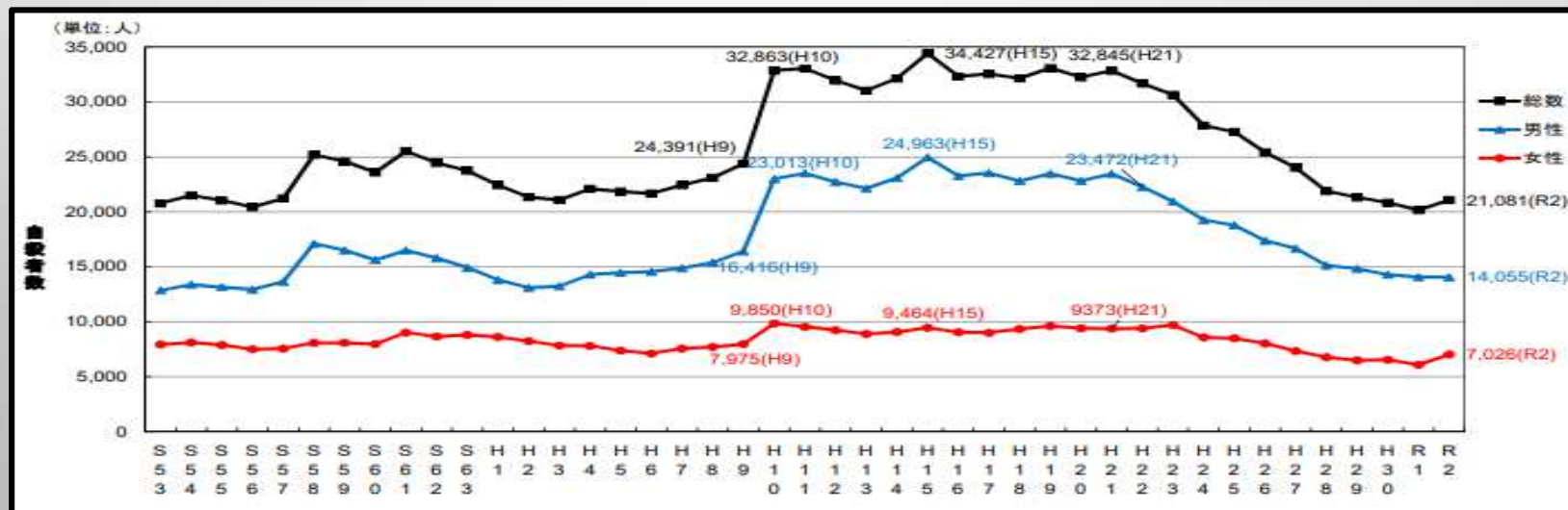
出典:総務省「労働力調査課(基本集計)」より作成。

## ● DV相談件数の推移



出典:内閣府男女共同参画局調べ 全国の配偶者暴力相談支援センターからの相談件数は、令和3年(2021年)3月31日時点の暫定値

## ● 女性の自殺者が増加



出典:警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成。 13

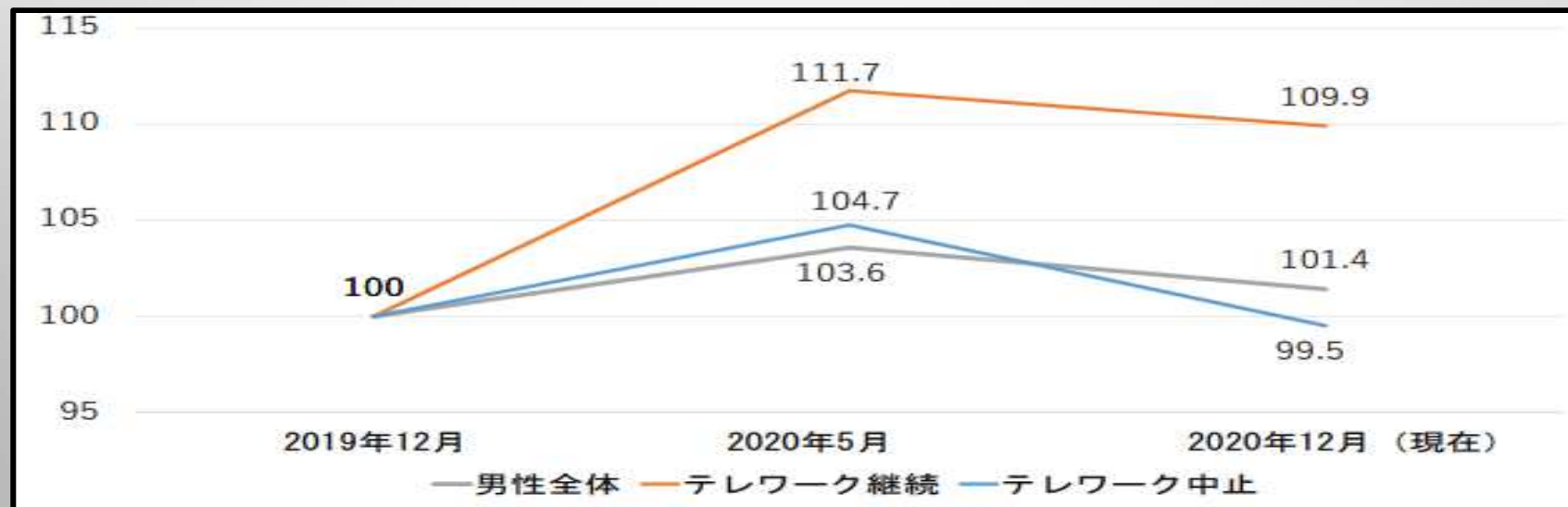
## 2.テレワークなどによる意識の変化

### 新型コロナウイルス感染症の影響下における男性の家庭参画への意識の変化

R2.6.21 内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

<ul style="list-style-type: none"> <li>テレワークなど、夫の働き方に变化があった家庭で、家事・育児の夫の役割が増加した人の割合</li> </ul>	31.7%
<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事と生活を比較し、生活を重視するように意識が变化した人の割合</li> </ul>	50.0%

《参考》子育て世帯への質問：男性の家事・育児時間の変化の推移（平均値）  
 テレワークを継続している男性は家事・育児時間が増加



出典：内閣府政務統括官（経済社会システム）調べ

# 現時点でみえていること

- 1 未だに固定的性別役割分担意識が根強く残っている
- 2 長時間労働による仕事と生活のバランスがとれていない
- 3 DVや性暴力などの女性に対する暴力が多様化している
- 4 新型コロナウイルス感染症予防による「新しい生活様式」に伴う男性の家庭参画意識の高揚

# 第4章

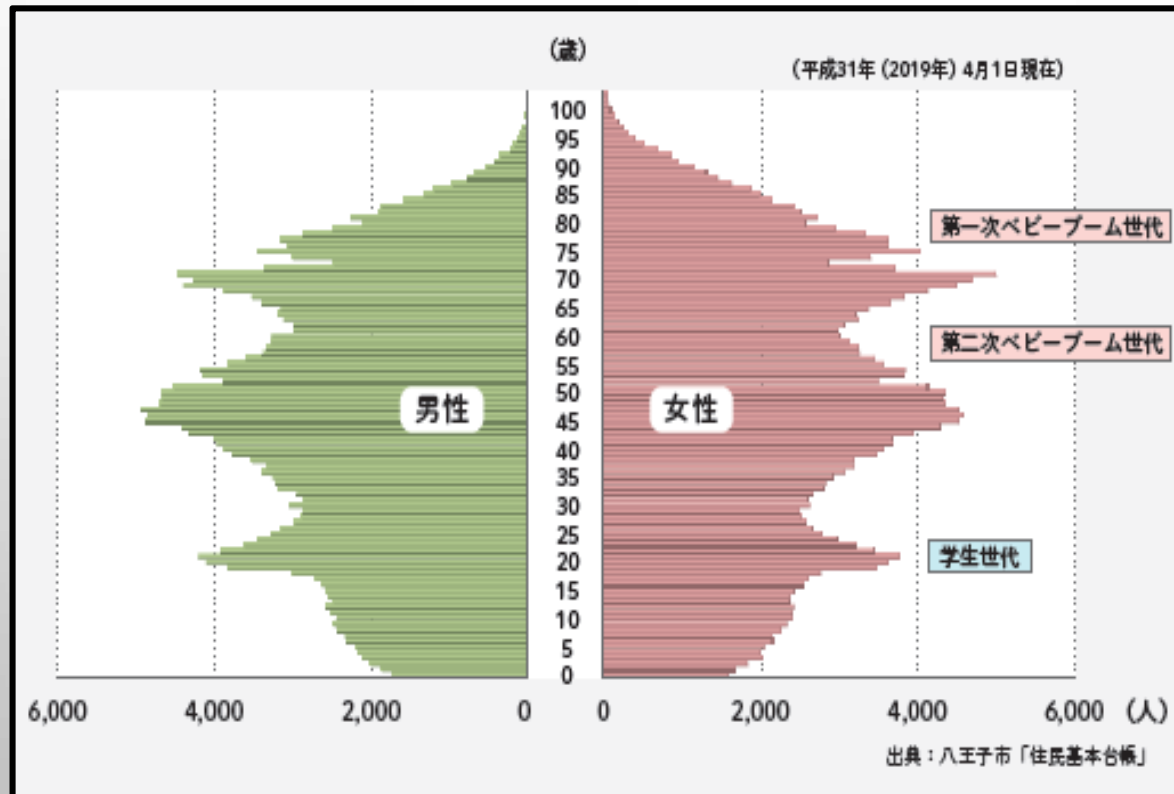
八王子市のこれからの

100年に向けて



# 1.人口減少による課題

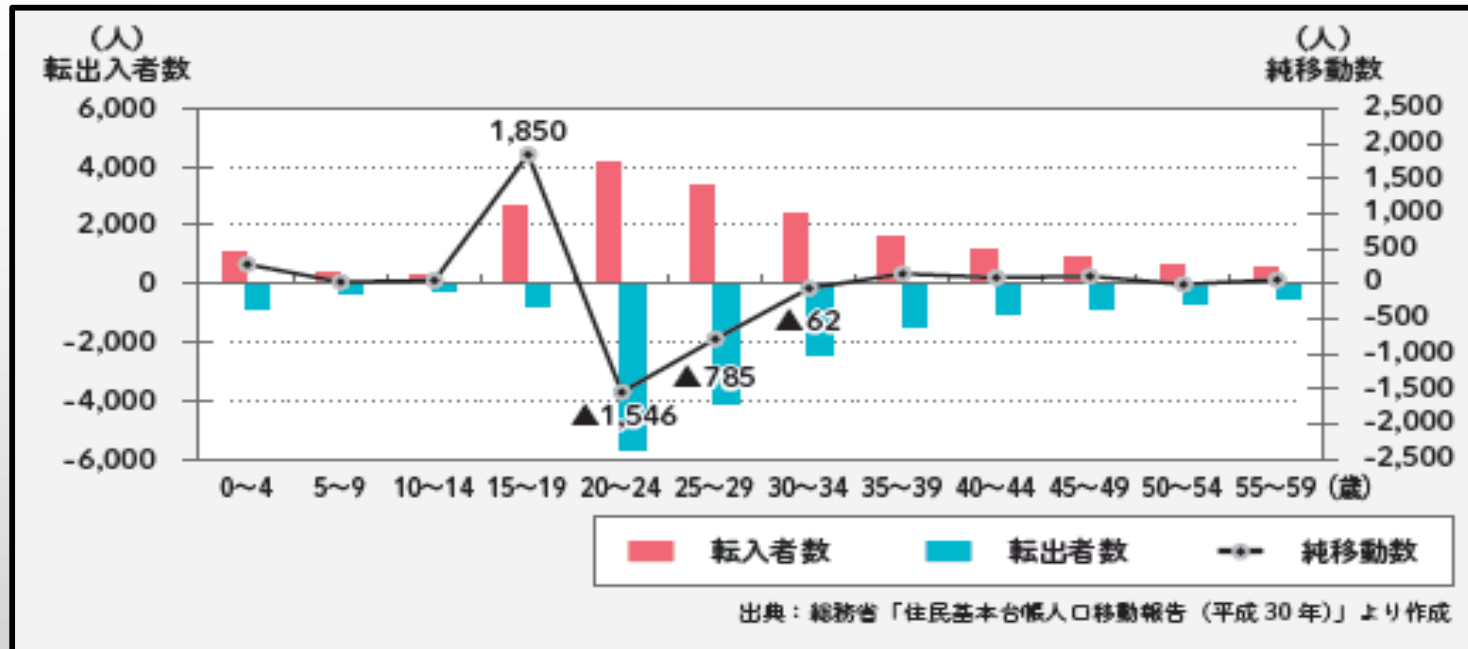
## ● 八王子の現在の人口



➤ 本市の人口構造を性別年齢別の人口ピラミッドとして示すと、左図のとおりです。

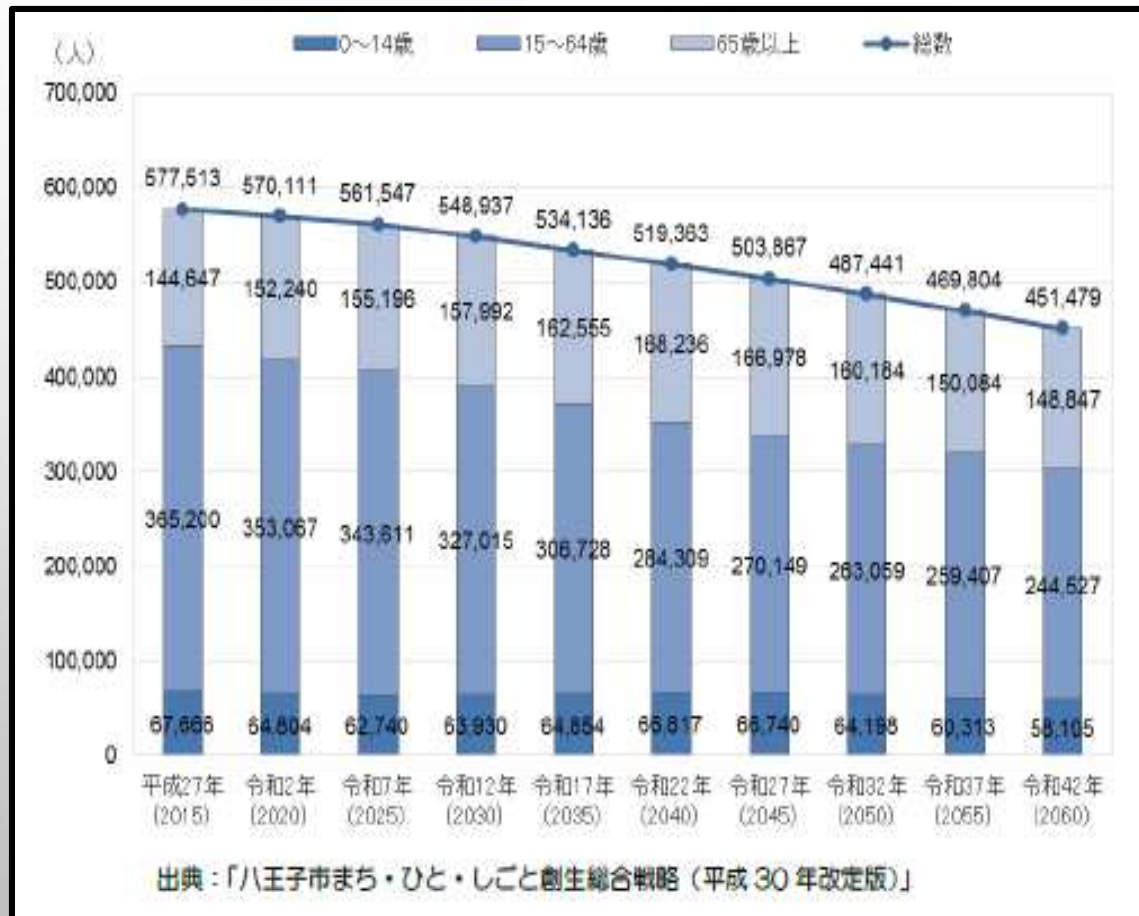
➤ 第一次ベビーブーム及び第二次ベビーブームに加えて、学園都市である本市の特徴として、20歳前後の人口が多い形となっています。

## ● 八王子の人口の動き



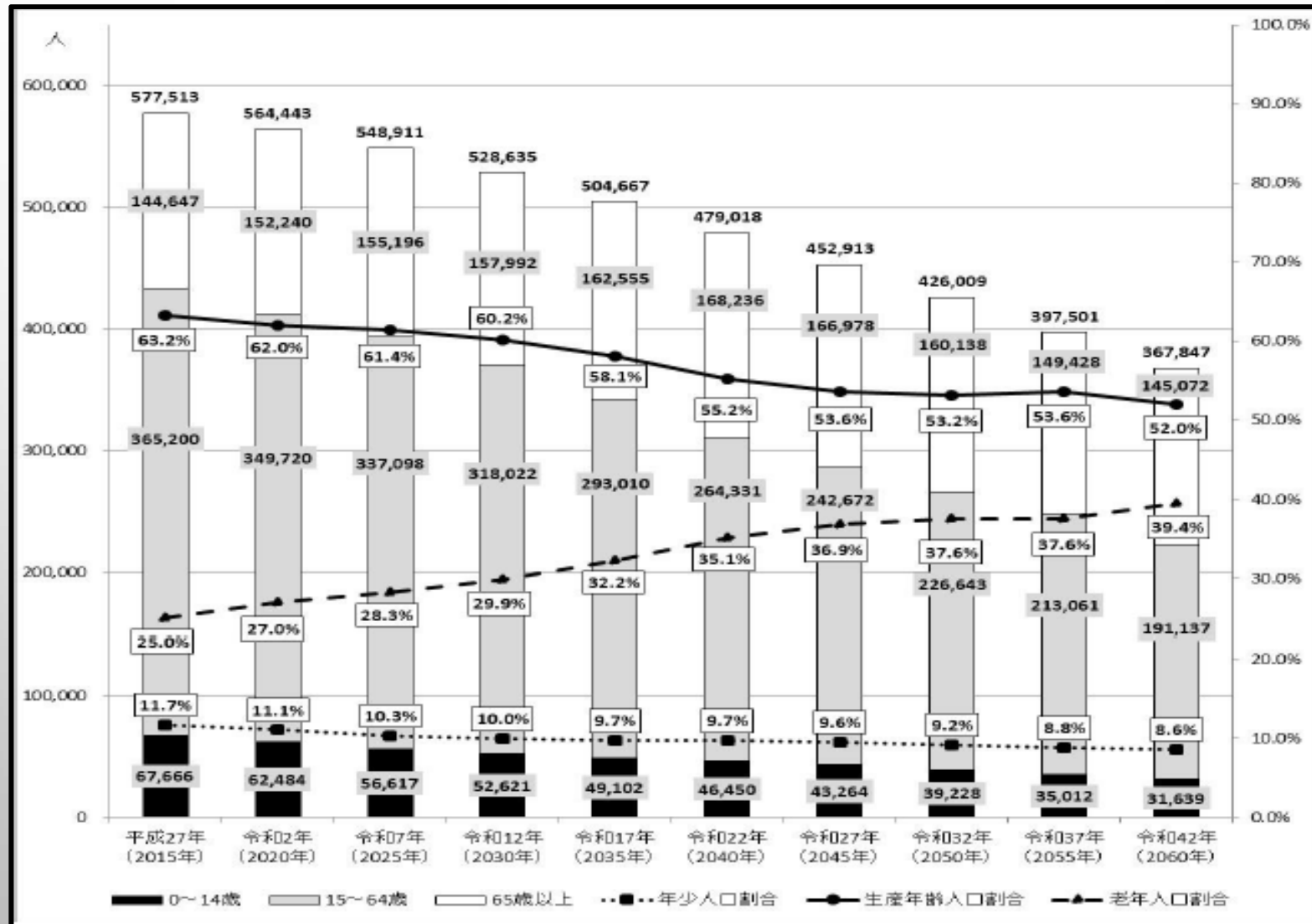
- 本市の転出数と転入数を5歳ごとの年齢別にみると、10代後半に転入超過となり、20代では転出超過となっています。
- 大学入学時の転入者数が多い一方、大学卒業や就職などのタイミングで転出者が増加していると考えられます。

## ● 八王子の人口推計



- 総人口で見ると、平成27年(2015年)577,513人が令和42年(2060年)には451,479人まで減少し、その減少率は21.8%となっています。
- 本市では、今後人口減少が進むなか、地域を支える生産年齢人口が減少する一方、老年人口の割合が増加していきます。

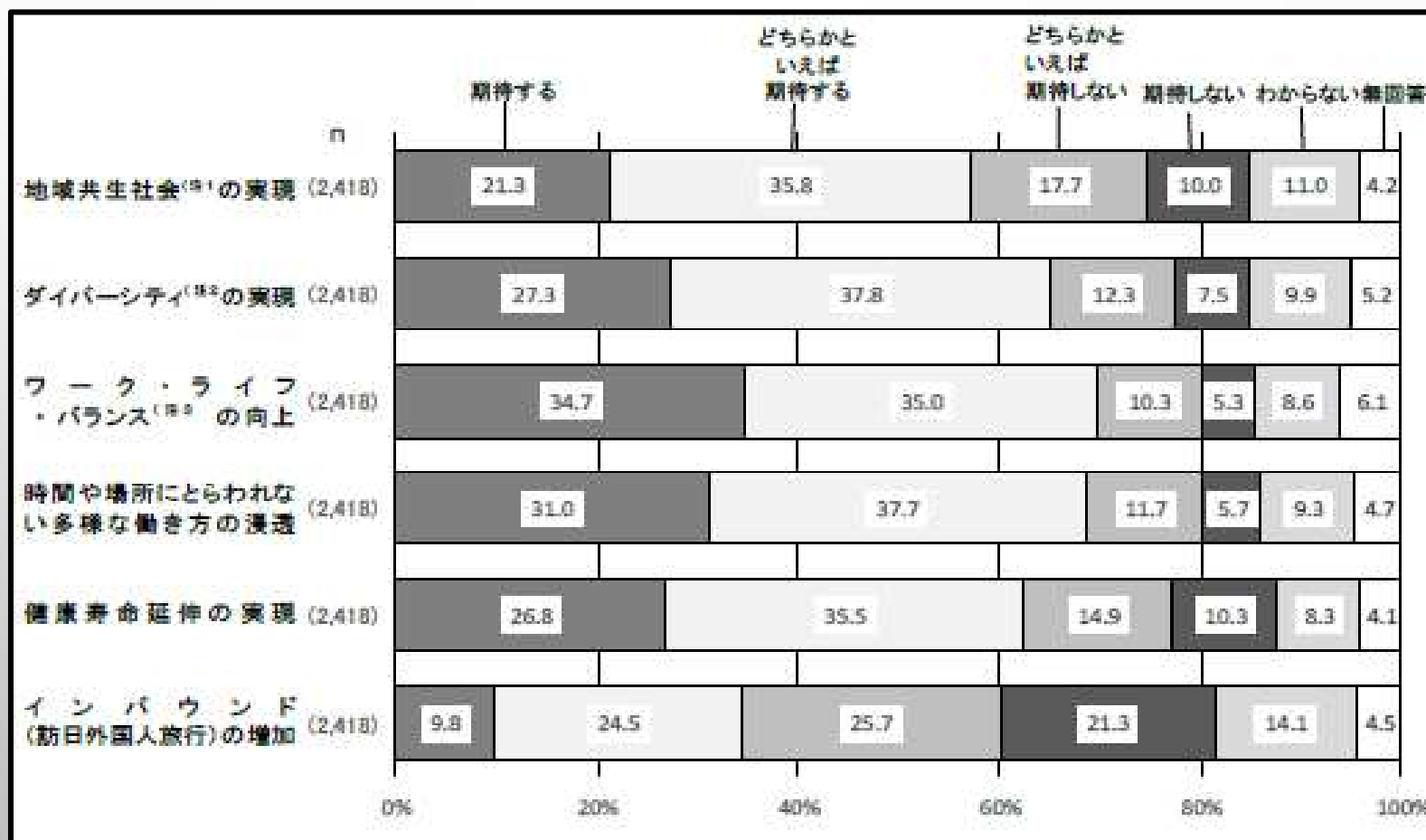
# 《参考》人口推計シュミレーション1



出典：八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020年改定版)

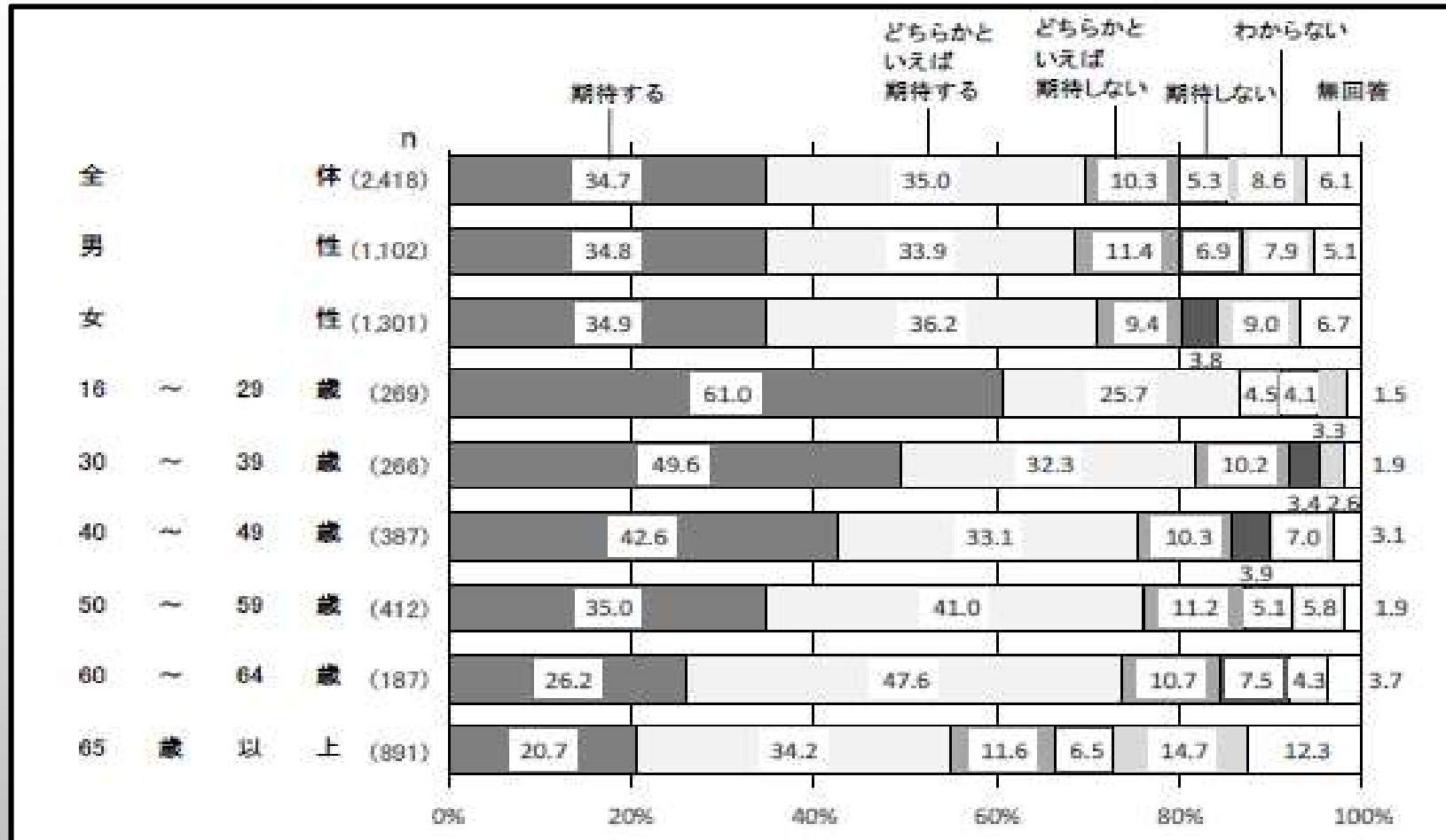
## 2.ワーク・ライフ・バランスへの意識

- 社会環境に対する期待要素



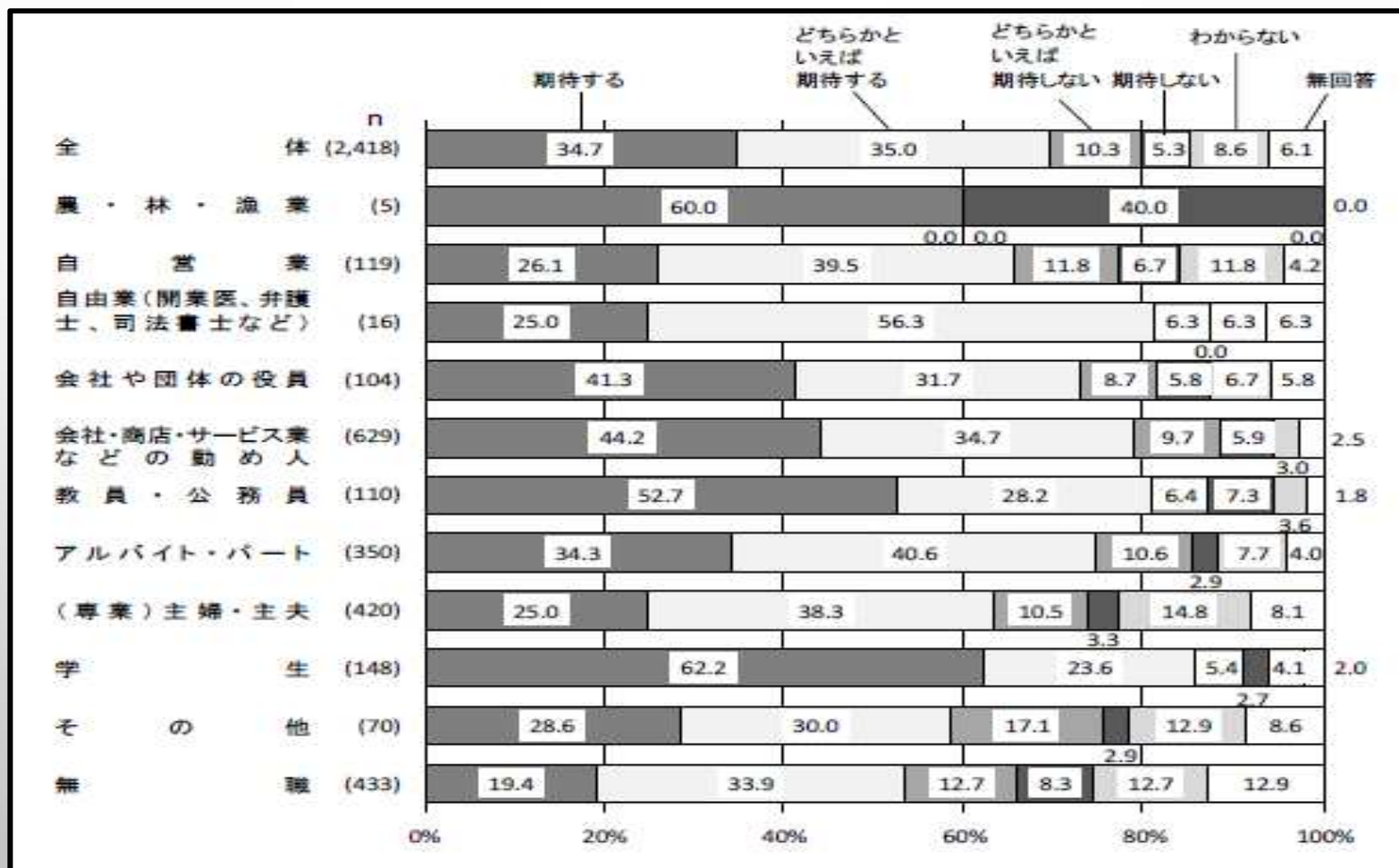
出典：長期ビジョン策定に向けたアンケート結果

## ● ワーク・ライフ・バランスの向上 - 性別、年齢別



出典: 長期ビジョン策定に向けたアンケート結果

## ● ワーク・ライフ・バランスの向上 - 職業別



出典:長期ビジョン策定に向けたアンケート結果

これからの八王子市のまちづくりには  
男女共同参画をより推進することが必要



- 市としての意思と姿勢を示す
- 市民・事業者等の責務を明らかにする
- 市民協働を進める

上記のことを目的に「(仮称)八王子市  
男女共同参画推進条例」を制定する。